

# MCCIR

vol. **25** 株式会社メガチップス  
2016年3月期のご報告  
2015年4月1日～2016年3月31日

**P3** 社長が語る  
業績と戦略  
中期成長に向けた  
事業構造の転換と  
グローバル事業の拡大が  
着実に進展しました。



## 株主メモ

決算日 毎年3月31日  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 毎年3月31日  
 配当基準日 毎年3月31日  
 この他、取締役会の決議により、  
 予め公告して基準日を定めることが  
 できます。

1単元の株式数 100株  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 〒541-8502  
 お問合せ先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 大阪証券代行部  
 電話：0120-094-777(通話料無料)  
 受付時間：土・日・祝祭日等を除く  
 平日9:00～17:00

公告の方法 電子公告により行います。  
 公告掲載URL  
<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6875/6875.html>  
 (ただし、電子公告によることが  
 できない事故、その他のやむを  
 得ない事由が生じたときは、  
 日本経済新聞に掲載します。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

2016年3月期のご報告  
2015年4月1日～2016年3月31日

# MegaChips

株式会社メガチップス

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪急ビル  
TEL.06-6399-2884(代) FAX.06-6399-2886

<http://www.megachips.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



郵便はがき

261-8790

千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンB棟5F

株式会社メガチップス  
広報課 ハガキ集計係



株主様アンケート

お手数ですが、ハガキにご回答の上、ポストへご投函くださいますようお願いいたします。

株主様のプロフィールをご記入ください。

性別：男性 女性  
 年齢：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代～  
 職業：会社員 自営業 公務員 主婦 その他( )  
 当社株式保有数：  
単元未満(100株未満) 100-199株 200-299株  
300-399株 400-499株 500-999株 1,000株以上  
 当社株式保有期間：  
1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満  
5年以上10年未満 10年以上  
 居住地：  
北海道 東北 関東 中部 近畿 中国 四国  
九州・沖縄

※ご記入いただいた情報は、アンケート集計以外の目的には使用いたしません。  
 ※2016年8月15日までに投函ください。

ハガキをご投函の際は、点線にそって切り離してください。

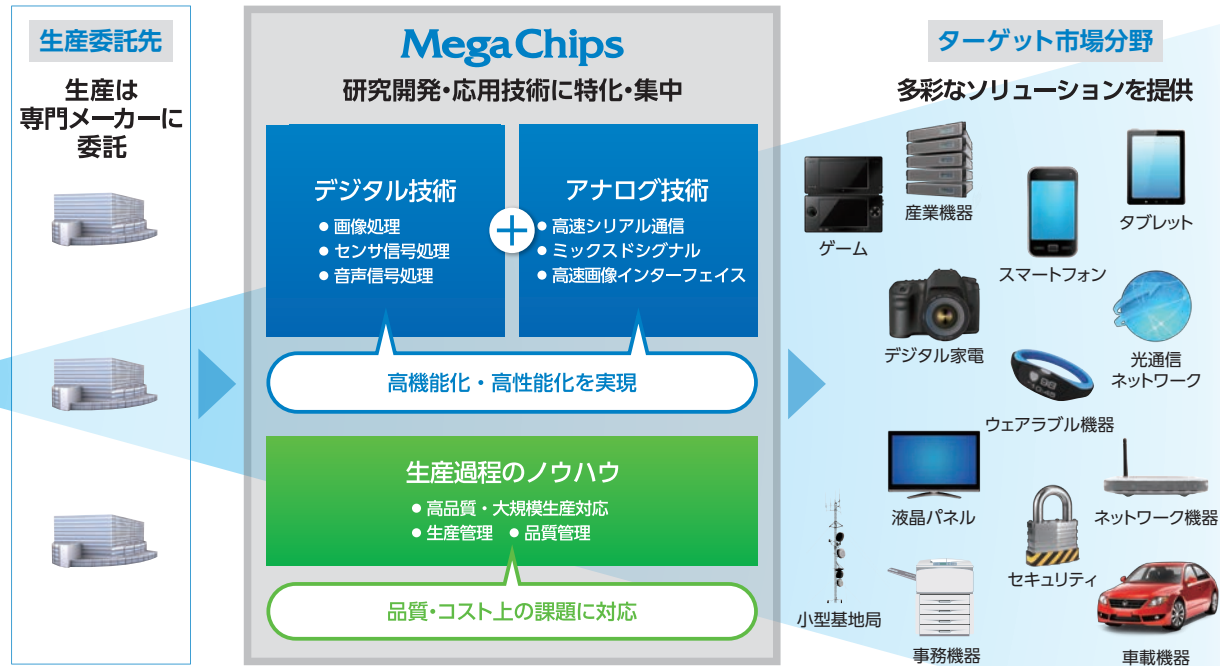
## 「画像」「音声」「通信」分野のコア技術を活かしたシステムソリューションを提供するグローバルファブレス企業として

メガチップスは、1990年に日本初のファブレス半導体メーカーとして創業し、数々の世界初、業界初を生み出してきました。経営資源を最先端のアルゴリズム研究、開発に集中し、「画像」「音声」「通信」分野において、顧客のニーズに応える独自の技術・製品をタイムリーに投入することで、国内外の顧客から高い評価を獲得しています。デジタル技術からアナログ技術まで、数多くの特許を申請・取得し、IP(設計資産)として蓄積することで差別化を実現し、競争力の源泉としています。

パソコンやスマートフォンに加え、ウェアラブル機器や車載器、医療機器、産業機器など、あらゆるものがネットワークにつながる時代に向け、メガチップスは、強みを持つローパワー設計、画像・信号処理、通信技術を駆使し、IoT時代の機器開発に不可欠なキーとなるLSIの開発を加速しています。

世界の有力顧客へ独自性の高いソリューションを提供するグローバルファブレス企業として、さらなる成長に向けた挑戦を進めています。

### メガチップスのビジネスモデル



### 用語解説

**ファブレス**▶ファブレス(Fabless)とは工場を持たないビジネスモデルを指す。商品企画、開発設計、営業活動に特化し、製造を外部に委託するメーカーのこと。

**ウェアラブル機器**▶ウェアラブルの意味は「身につける」。つまり腕や頭などに装着し、各種情報を記録・送信する端末のこと。腕時計型やリストバンド型、メガネ型などがすでに登場している。

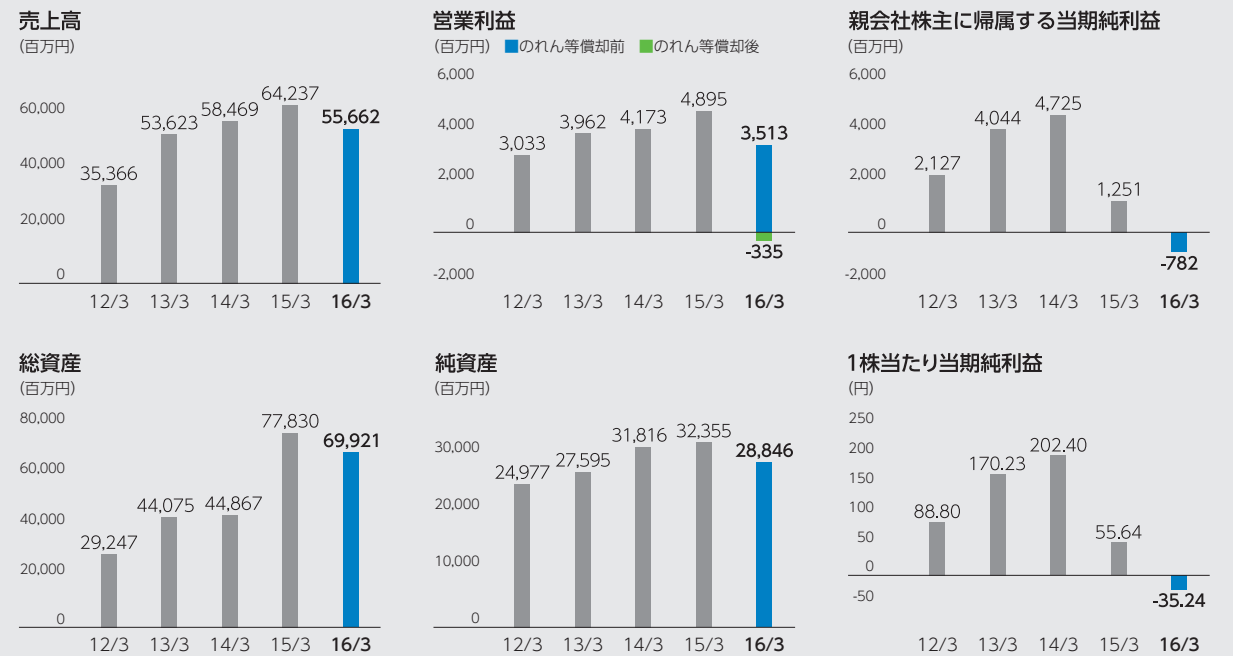
**IoT**▶「Internet of Things」の略。情報・通信機器をはじめ、日用品、家電、建物、クルマなど、世の中のさまざまな“モノ”をネットワークにつなぎ、相互に通信・制御する仕組みや技術のこと。

株式会社メガチップスおよび連結子会社 3月31日に終了した連結会計年度

	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3
会計年度(単位:百万円)					
売上高	35,366	53,623	58,469	64,237	55,662
売上原価	28,687	40,568	43,348	45,263	39,233
のれん等償却前営業利益	3,033	3,962	4,173	4,895	3,513
のれん等償却後営業利益	3,033	3,962	4,173	4,895	-335
親会社株主に帰属する当期純利益	2,127	4,044*1	4,725*2	1,251	-782
会計年度末(単位:百万円)					
総資産	29,247	44,075	44,867	77,830	69,921
純資産	24,977	27,595	31,816	32,355	28,846
1株当たり情報(単位:円)					
1株当たり当期純利益	88.80	170.23	202.40	55.64	-35.24
1株当たり純資産	1,042.70	1,181.89	1,362.64	1,438.09	1,341.86
期末発行済株式総数(単位:株)	24,038,400	24,038,400	24,038,400	24,038,400	23,038,400

\*1 2013年3月期は、川崎マイクロエレクトロニクス(株)(以下、川崎マイクロ)の全発行済株式を取得した際、取得時の時価純資産額が取得価額を上回った額14億6百万円を“負ののれん”として「特別利益」に計上しています。

\*2 2014年3月期は、川崎マイクロの吸収合併に伴い、承継した税務上の繰越欠損金等で回収可能性の認められるものについて繰延税金資産を計上し、これにより発生した税額調整(利益)23億7千4百万円を「法人税等調整額」に含めて計上しています。



### Contents

- 1 プロフィール
- 2 財務ハイライト
- 3 社長が語る業績と戦略
- 4 Column ダイバーシティ推進への取り組み
- 5 株主様ラウンジ
- 6 研究開発
- 7 会社情報/役員構成

**見通しに関する注意事項**  
当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる場合がございます。





## 中期成長に向けた 事業構造の転換と グローバル事業の拡大が 着実に進展しました。

代表取締役社長 高田 明

### 業績の概況

中期の成長に向けた事業構造の転換が進展し、既存事業の一時的な悪化の影響を軽減しました。

2016年3月期の当社は、既存事業であるゲーム機器、デジタルカメラ、事務機器などのASIC(顧客専用LSI)事業を強化するとともに、中長期の成長を担うASSP(特定用途向けLSI)事業の立ち上げに注力しました。

具体的には、あらゆるモノがネットワークにつながるIoT社会の到来を見据え、中長期の成長機器市場の有力グローバル企業に向けたビジネスを強化しつつ、適正な事業ポートフォリオの再構築に取り組みました。これにより5年前はともにほぼ0%であったASSP事業売上は約40%、売上海外比率は50%弱となり、取り組みの成果が表れてきました。

2016年3月期の業績については、売上高556億6千2百万円、また、中期成長のための海外企業買収に伴うのれん及び無形固定資産の償却費と期初に比べ期末の為替レートが円高になったことによる会計上の為替損の発生により、償却前の営業利益は35億

1千3百万円、償却後の営業損失は3億3千5百万円、会計上の為替影響を修正した経常利益は3億1千3百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は7億8千2百万円となりました。

これは2016年1月29日に公表した通期業績予想(売上高560億円、営業損失5億円、経常利益1億円、親会社株主に帰属する当期純損失9億円)に対して、売上高は円高の影響で前回予想をわずかに下回ったものの、費用の効率化による利益率改善により、各利益はそれぞれ改善しました。

業績の内容としては、**中期の成長分野として取り組んでいるASSP製品Smart Connectivity LSI (DisplayPort) およびMEMSタイミングデバイス事業が、米国の大手IT企業との取引をコアに、新製品の立ち上げや応用分野の拡大による新規顧客の開拓により順調に売上を伸ばし、前期と比較してそれぞれ2倍強に成長したことで、ゲーム機器向けおよび液晶パネル向け製品の一時的な需要減による売上へのマイナス影響が軽減しました。**

以上のとおり、2016年3月期は中期の新たな成長分野への取り組みが順調に進展したと捉えています。

### 2017年3月期の中期経営方針

中期成長のための事業構造転換を進めるとともに、応用分野拡大によるASIC事業の強化を進めます。

グローバルで競争力を持つASSP事業に加え、応用分野の拡大により顧客ベースを広げることでASIC事業も強化し、両輪として大きく伸ばしていくことを目指します。

ASSP事業では、Smart Connectivity LSI (Display Port) およびMEMSタイミングデバイス、ホームネットワークに加えアクセス系向け新製品を立ち上げる通信LSI、TVパネル向けに加えモバイルパネル向けを強化するパネル用コントローラLSI、IoT向けのセンサハブLSIの5つの事業を引き続き推進していきます。

まず、Smart Connectivity LSI (DisplayPort) は、多用途性、拡張性、広帯域A/Vデータ伝送などの機能を実現する映像インターフェイス規格です。高度なA/V機能を必要とするコンピュータ、モバイル機器をディスプレイにつなぐユーザーにとって非常に重要な技術です。米国の大手IT企業との取引をコアに売上が伸長しており、さらに今後は、標準規格として市場の拡大が見込まれるUSB Type C接続向けの製品を拡充していきます。

次に、MEMSタイミングデバイスは、電気機器の動

作や通信機能において、正しい時間と速度で動作させるための基準信号(クロック)を生み出す部品であり、あらゆる電子機器に用いられています。当社のタイミングデバイスは、シリコンを材料としており、これまで主流となっていた水晶を用いた既存品を凌駕する性能・機能を備えていることから、モバイル、ウェアラブル機器に最適なデバイスとして採用が急速に広がっています。民生用だけでなく、産業用、通信インフラ用、車載機器用に適した新製品の積極的な投入により、IoT分野、車載・産業機器分野を中心に幅広い製品への採用が見込まれ、さらなる事業拡大を目指します。

一方で、ASIC事業も重要であり、引き続き強化していきます。ゲーム機器、デジタルカメラ、事務機器、通信機器などの各分野における国内外の有力顧客に向け、競争力を磨き個々のアプリケーションに最適な顧客専用LSIを提供すること、応用分野の拡大による顧客ベースを広げることで強化を図ります。

このように、主に海外顧客向けのASSP事業と国内顧客向けのASIC事業それぞれに拡大・強化を推進することが中期の経営方針です。これに加え、グローバル拠点の強化、人材の育成を進めながら成長を図っていく考えです。

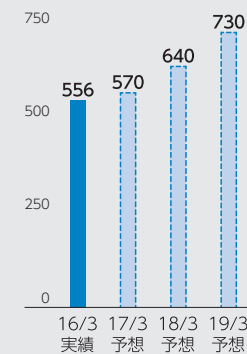
### 2017年3月期 中期経営方針および中期業績予想

#### 基本方針

- 1 応用(アプリケーション)とマーケティングを強化し、顧客サービスの充実を図ることで、有力グローバル企業とのビジネス関係の拡大を図ります。
- 2 モバイル、ウェアラブル機器を含むIoT分野向けに、特定用途向け(ASSP)製品を中心に、プラットフォームを構成する製品の拡充を図ります。
- 3 顧客の多種多様な課題に対して、開発から製造・品質保証に至るまで一貫したサポートを提供する顧客専用LSI(ASIC)では応用分野と顧客ベースの拡大を図ります。
- 4 人材のグローバル化を推進します。
- 5 高成長・高収益体質への転換を図り、財務体質を強化します。

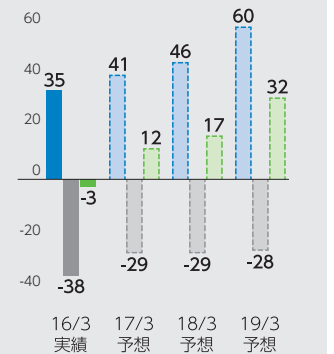
#### 売上高

(億円)



#### 営業利益

(億円)



2017年3月期の業績見通し

中期経営戦略に沿った活動を着実に進め、増収増益を目指します。

これからの社会環境は、さらにネットワーク化が進展し、高度な情報化社会が実現していくものと考えます。そして、IoT社会の発展に伴い世界の半導体需要も拡大していきます。このような状況のもと、先に申し上げたとおり、**ASSP事業ではモバイル、ウェアラブル機器を含むIoT分野の有力なグローバル顧客を対象とした事業を積極的に推進します。特に、買収により獲得したMEMSタイミングデバイス事業は順調な大幅成長を見通しており、業績向上に寄与するものと考えています。**

また、ASIC事業では主要応用分野で**2017年3月期の後半に大型新製品の立ち上げを予定しており、2017年3月期以後も引き続き売上げが期待できます。**

2017年3月期における通期の連結業績につきましては、売上高570億円(前期比2.4%増)、海外企業買収に伴うのれん及び無形固定資産の償却費等29億円、償却前の営業利益41億円(同16.7%増)、償却後の営業利益12億円(前期は3億3千5百万円の損失)、経常利益10億円(前期比219.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2億円(前期は7億8千2百万円の損失)と、増収増益を見込んでいます。

2017年3月期の連結業績予想 (単位:百万円)

	2017年3月期 予想	2016年3月期 実績
売上高	57,000	55,662
のれん等償却前営業利益	4,100	3,513
のれん等償却*	2,900	3,848
のれん等償却後営業利益	1,200	-335
経常利益	1,000	313
親会社株主に帰属する 当期純利益	200	-782
1株当たり当期純利益(円)	9.33	-35.24

\* 積極的に行った海外企業買収に伴う、のれん、無形固定資産の償却。

株主様への還元について

株主様への利益還元に努めるとともに、機動的に自己株式取得を適宜実施し、株式価値と資本効率の向上を進めます。

当社は株主の皆様への適切な利益還元を重要な経営課題のひとつとして位置づけています。持続的な利益還元と会社の成長を目指し、今後の会社の経営状況を勘案した上で積極的な利益還元を努めていきます。

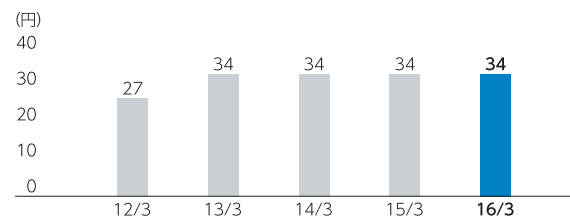
株主配当については、中期的な経営状況の見通しを考慮した上で、親会社株主に帰属する当期純利益の30%以上に相当する額を配当金総額とします(ただし、会計・決算・税務上の特殊要因を勘案の上加減算することがあります)。これを期末時点で保有する自己株式数を差し引いた期末発行済株式数で除した金額を配当金として決定し、年1回実施する方針です。この方針に沿って、2016年3月期の1株当たりの配当は、前期に引き続き年間34円と決定しました。

2017年3月期の1株当たりの年間配当は未定ですが、方針に基づいて実施する予定です。決定しましたら、リリースを行うとともにホームページ上でお知らせします。

また、資本市場からの自己株式の取得(取締役会決議によるもの)につきましては、2016年2月に実施しています。取得した株式の総数が920,000株、取得価額の総額が9億7千2百万円であり、自己株式の消却につきましては、保有する自己株式のうち1,000,000株を消却しました。

今後も、株主の皆様への積極的な利益還元を努め、株式価値と資本効率の向上に努めてまいります。株主の皆様には、引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

1株当たり配当金推移

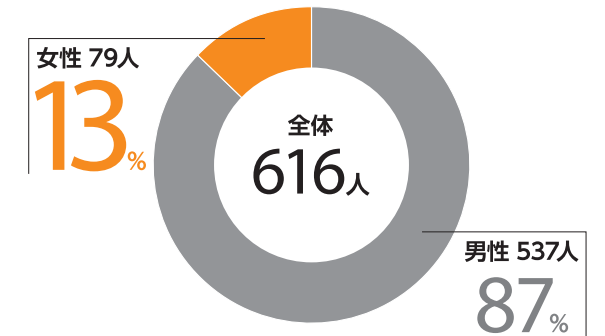


“プロジェクト1年目は「女性活躍の推進」をテーマに”

メガチップスでは、佐々木かをり氏が代表を務めるマーケティング・コンサルタント会社(株)イー・ウーマンの協力を得て、2014年12月から「ダイバーシティの推進」に向けた社内教育・啓発活動を進めています。

このプロジェクトは3年~5年の長期的視点で取り組んでおり、1年目の2015年度はテーマとして「女性活躍」を掲げ、女性リーダー研修や中間管理職対象のマネジメント研修、「国際女性ビジネス会議」への参加など、さまざまなプログラムを実施しました。

女性従業員比率(メガチップス単体)



メガチップスにおけるダイバーシティ推進への取り組み

- 2014年6月~ 社内ダイバーシティ推進委員会(プロジェクト名 FIORE)の提言
- イー・ウーマン社とアドバイザー契約締結
- 2014年12月 社長の高田より全社へダイバーシティ推進を宣言
- 2015年1月 第1回ダイバーシティに関する意識調査
- 5月 佐々木かをり氏講演「ダイバーシティが成長のキーワード」
- 7月 国際女性ビジネス会議にダイバーシティパートナー企業として参加(社長+社員有志が同会議に参加) ※2015年 8月28日 女性活躍推進法が成立
- 9月 パネルディスカッション 各社ダイバーシティ担当者×佐々木かをり氏「ダイバーシティ推進を事例で学ぶ」
- 11月 女性リーダー研修2日間(対象:管理職手前の女性社員)
- 12月 ダイバーシティマネジメント研修(対象:課長)2カ所
- 2016年2月 第2回ダイバーシティに関する意識調査

Pick Up

女性リーダー研修

2日間にわたって女性リーダー育成を目的とした研修が行われました。当社各拠点から15名のメンバーが集まり、論理的思考、時間管理、コミュニケーション、姿勢・表情・声、リーダーシップについて学びました。



参加メンバーの声

- [私]を主語にして自分の意見を言うこと(I statement)の意義や、時間に縛られるのではなく自分で時間を管理する方法を学びました。
- リーダーシップを発揮するための論理的思考、話し方のノウハウを学びました。これらの能力を磨き実践していきたいと思っています。

佐々木かをり氏と社長の対談を実施しました  
グローバル企業としてのダイバーシティの重要性

プロジェクト1年目の成果・課題の振り返りとして、佐々木氏と高田の対談を行いました。男性・女性を問わず社員の意識変化について再認識するとともに、今後のグローバル展開を見据えて、国籍を越えた多様性の推進、さらなる意識変革の必要性について話し合いました。

詳細はこちら▶ <http://www.megachips.co.jp/csr/diversity.html>





## 画像・音声・通信分野の独自技術をコアに 独創的な製品を創出しています

メガチップスは、独自のコア技術を活用して顧客ニーズに応えるとともに、他社製品との差別化を実現する応用技術の研究開発に取り組んでいます。また、こうした研究開発による優位性と独自性を確保するために、知的財産の権利化を推進しています。

**研究開発方針**  
**画像・音声・通信分野のシステムLSI、IoT分野の特定用途向け製品および当該製品を利用したソリューションを提供すること**

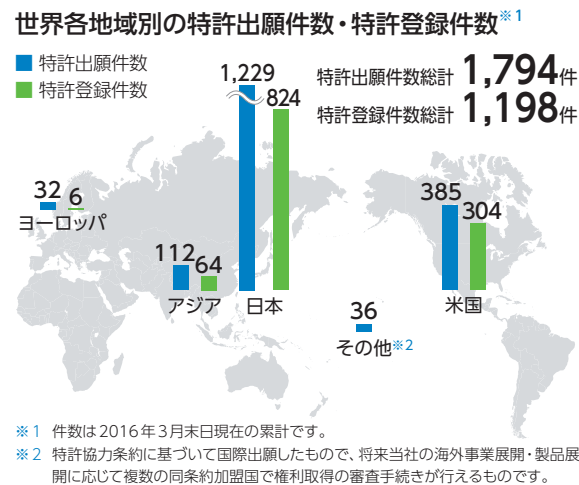
### 2016年3月期 研究開発の主な成果

<b>LSI製品の開発</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 携帯型ゲーム機向けゲームソフトウェア格納用LSI</li> <li>● デジタルカメラ用LSI</li> <li>● 液晶パネル向けタイミングコントローラLSI</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アナログフロントエンドLSI</li> <li>● インテリジェント・センサハブLSI</li> <li>● 光通信向けIP、LSI</li> <li>● Smart ConnectivityLSI (DisplayPort)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MEMSタイミングデバイス</li> <li>● 有線(同軸線、電源線)マルチホップ通信向けLSI</li> </ul>
<b>その他製品の開発</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フルデジタル映像記録・伝送システムの機能拡張およびカスタム開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティ用カメラシステムのラインナップ追加開発</li> </ul>	

### 知的財産戦略

ファブレスメーカーであるメガチップスにとっては、研究開発のアイデアやノウハウなどの知的財産が事業競争力の源であり、知的財産を権利として保護することが競争力や成長力の向上につながります。

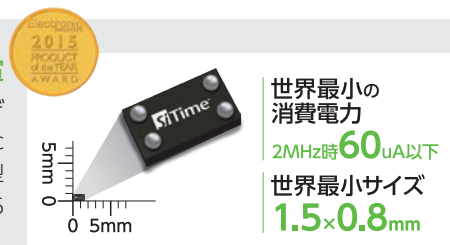
2016年3月期は、開発製品における技術として「液晶パネルコントローラ向け画像処理/データ転送」「ゲーム機向けセキュリティ」「ウェアラブル機器/センサ関連」「画像認識」に関する特許を出願しました。また基礎/応用技術として「状態推定」および「ディープラーニング/機械学習」に関する特許を出願しました。



### TOPICS

#### SiTimeの新製品が大手業界誌のProduct of the Yearを受賞

メガチップスの子会社である米国SiTimeが開発したMEMSタイミングデバイス「SiT8021」が、電子設計エンジニア向け大手業界誌Electronic Products誌の「Product of the Year」を受賞しました。電子機器の小型化・省電力化に貢献する同製品の革新的な設計や技術が評価され、2015年に発表された数千点の製品から選ばれたものです。



会社商号	株式会社メガチップス
英文商号	MegaChips Corporation
設立	1990年4月4日
上場	東証1部 (証券コード6875)
資本金	4,840百万円
従業員数	925名 (2016年3月31日現在 連結)
事業内容	システムLSI、自社システムLSIを使った電子部品およびシステム製品の設計・開発・製造(外部委託)・販売

所在地	<b>本社</b> 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪急ビル TEL. 06-6399-2884 (代表)
	<b>東京事業所</b> 〒102-0082 東京都千代田区一番町17番地6一番町MSビル
	<b>幕張事業所</b> 〒261-8501 千葉県美浜区中瀬1丁目3番地
主な海外拠点	MegaChips Technology America Corporation
	SiTime Corporation
	MegaChips Taiwan Corporation
	Modiotek Co., Ltd. MegaChips Corporation, China India Branch

### 役員

 代表取締役社長 <b>高田 明</b> (たかた あきら)	 取締役副社長 <b>松岡 茂樹</b> (まつおか しげのり)	 専務取締役 <b>藤井 理之</b> (ふじい まさゆき)	 専務取締役 <b>吉清 恭一</b> (きよせい きょういち)	 取締役 <b>肥川 哲士</b> (ひかわ てつお)
 取締役 <b>林 能昌</b> (はやし よしまさ)	 社外取締役 <b>赤星 慶一郎</b> (あかほし けいいちろう)	 社外取締役 <b>游 敦行</b> (いう どうしん)	 社外取締役 <b>富永 千里</b> (とみなが ちかこ)	
 常勤監査役 <b>角 正</b> (すみだ ただし)	 社外監査役 <b>小原 望</b> (おほらの のぞむ)	 社外監査役 <b>北野 敬一</b> (きたの けいいち)	 社外監査役 <b>浅田 勝彦</b> (あさだ かつひこ)	

※ 取締役 赤星 慶一郎氏、游 敦行氏および富永 千里氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
 ※ 監査役 小原 望氏、北野 敬一氏および浅田 勝彦氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。



株主様アンケートのご報告

「MCCIR vol.24」誌上のアンケートに対し、1,453名の株主様からご回答いただきました。誠にありがとうございます。株主様からお寄せいただいた貴重なご意見は、今後の経営およびIR活動に活かしてまいります。

株主様の声

- トップメッセージは将来展望が語られるので毎回楽しみにしている。
- どんな人たちがどんな環境で研究開発しているのか紹介してほしい。
- 中期計画と現状の進捗についてコメントを記載してほしい。
- 冊子が簡素化されたが必要最低限の情報は掲載されていて良かった。
- MEMS タイミングデバイスはなじみのない部品だが、記事が面白かった。
- 事業内容が少しわかりにくいのでIRフェアなどあれば参加してみたい。

2016年度の株主優待について

メガチップスでは、株主の皆様の日頃のご支援に対して感謝の意を表するため、株主優待制度を設けています。さまざまな利益還元策の中でのバランス等を総合的に勘案し、2016年3月末時点で当社株式を100株(1単元)以上ご所有の株主様を対象に、心ばかりの品を贈呈させていただきます。本年度は百貨店提供のカタログ商品から所有株式数に応じて、ご希望の1点をお届けします。



株式会社大丸松坂屋百貨店カタログ

所有株式数	カタログ内容
100株以上300株未満	2千円相当
300株以上500株未満	3千円相当
500株以上	5千円相当

**ご注意** 株主優待は、毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、100株(1単元)以上ご所有の株主様を対象に行っています。ご転勤などでご住所を変更される場合は、証券会社等口座開設先に必ず住所変更届をご提出ください。株主優待に関する当社からのご案内書をお届けできない場合が少なからず発生しています。なお、株主優待品につきましては、申込受付期日を過ぎますとお受けできなくなりますので、ご注意ください。

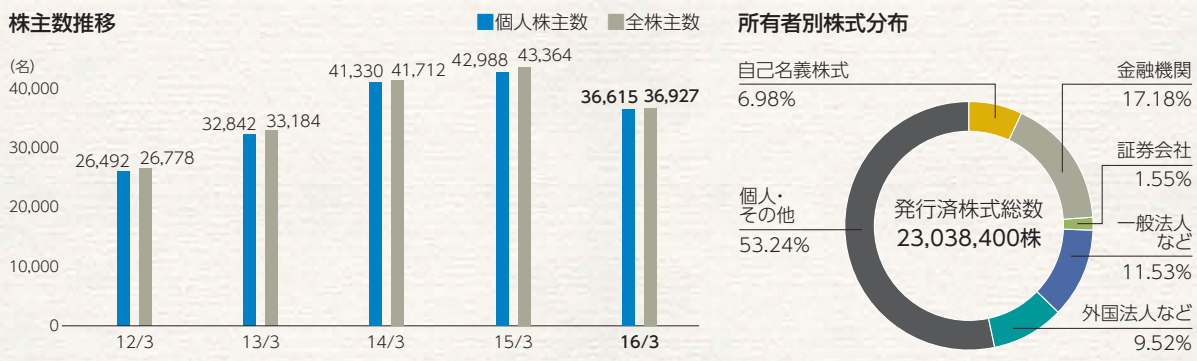
**メガチップス株主優待事務局**  
 フリーコール：0120-995-170  
 受付時間：9時～17時 月～土曜日(祝日を除く)

優待品のお申し込みや配送に関するお問合せ

今後の活動予定(IRカレンダー)

2016年	2017年
7月 アニュアルレポート(英文版)発行	12月 中間MCCIR発行
7月29日 第1四半期決算発表	1月27日 第3四半期決算発表
10月28日 第2四半期決算発表	
ホームページ掲載情報 ●アニュアルレポート(英文版)	ホームページ掲載情報 ●中間MCCIR
ホームページ掲載情報 ●最新決算報告 ●決算短信 ●決算説明会資料 ●第1四半期報告書* ※8月9日発行予定	ホームページ掲載情報 ●最新決算報告 ●決算短信 ●決算説明会資料 ●第3四半期報告書* ※2月9日発行予定
ホームページ掲載情報 ●最新決算報告 ●決算短信 ●決算説明会資料 ●第2四半期報告書* ※11月10日発行予定	

当社の株主構成



IR活動の充実に向け株主様アンケートにご協力ください

2016年8月15日 まで受付

Q1 株主通信「MCCIR」vol.25の内容で、興味を持たれた記事・コーナーをお選びください。(複数回答可)

Q2 今後、詳しく掲載を行ってほしい情報は何でしょうか。(複数回答可)

Q3 今後強化してほしいIR活動・ツールは何でしょうか。(複数回答可)

Q4 当社ホームページをご覧になったことはありますか?

Q5 株主通信「MCCIR」のご感想またはIR活動へのご要望をお聞かせください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。